

研究実施のお知らせ

2026年2月13日 ver.1.0

研究課題名

2型糖尿病患者におけるチルゼパチドとセマグルチドの治療反応性と有害事象の個人差：後方視的コホート研究

研究の対象となる方

解析対象期間（2020年6月から2026年3月）の間に、島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科に通院中で、2型糖尿病と診断され、チルゼパチドまたはセマグルチドを新規に開始（再導入を含む）された方。

研究の目的・意義

チルゼパチドおよびセマグルチドは、血糖改善に加えて体重減少効果が期待できる糖尿病治療薬です。一方で、体重減少の程度には個人差があり、よく減る方とあまり減らない方がいます。また、悪心・嘔吐・下痢・便秘などの消化器症状を中心とした有害事象にも個人差があり、治療継続や用量調整に影響します。

本研究では、診療録（電子カルテ）に記録された情報を用いて、体重減少の個人差、有害事象（特に消化器症状）の発生、腎機能や尿アルブミンなどの腎症指標、骨粗鬆症関連の指標について、どのような患者背景や臨床指標が関係するかを明らかにすることを目的とします。得られた知見は、薬剤選択や導入・増量方法、フォロー計画の個別化（リスク層別化）に役立つ可能性があります。

研究の方法

本研究では、同意いただいた方のみ研究用に採血します。診療の過程で記録された電子カルテ情報を用います。主に以下の情報を診療録より抽出し、個人を特定できない状態にしたうえで解析します（2026年3月までに存在する診療情報のみ使用します）。

- 基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI
- 糖尿病関連：罹病期間、治療歴、合併症（網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化性疾患など）
- 血糖コントロール：HbA1c（開始前値、過去の推移として取得可能な範囲）
- 検査・バイタル：血圧、脂質、肝機能、腎機能（eGFR）、尿アルブミン/クレアチニン比（U-ACR）
- 薬剤情報：チルゼパチド/セマグルチドの開始日、用量変更、継続状況、併用薬（イ

ンスリン、SU 薬、SGLT2 阻害薬、メトホルミン等)

- ・骨粗鬆症関連：DXA 結果（実施されている場合）、骨折歴、骨粗鬆症の診断や治療歴

- ・有害事象：悪心、嘔吐、下痢、便秘、腹部膨満、消化不良、食欲低下等の消化器症状、消化器症状による処方変更や中止、胆嚢疾患、膵炎、重度便秘/腸閉塞、低血糖など（カルテで確認可能な範囲）。

本研究では、同意いただいた方に限り、追加の採血を行い、MGO/GO/3-DG、AGE 関連指標（CML、CEL、ペントシジン、可能な場合は MG-H1）、sRAGE 等を測定します。また、同意いただいた方に限り、皮膚 AGE 測定を 1 回行います。これらの追加測定は研究目的のためにのみ使用し、個人が特定されない形で解析します。

研究の期間

2026 年 3 月（研究許可日）～2030 年 3 月

研究の公表

本研究で得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際に、氏名や患者 ID など個人を特定できる情報を公表することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 高垣 雄太

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 6 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：高垣 雄太

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 高垣 雄太

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650